

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公表番号】特表2002-523541(P2002-523541A)

【公表日】平成14年7月30日(2002.7.30)

【出願番号】特願2000-566337(P2000-566337)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/12 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

C 0 8 K 5/053 (2006.01)

C 0 8 K 5/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/17 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 27/12

C 0 8 K 3/34

C 0 8 K 5/053

C 0 8 K 5/14

C 0 8 K 5/17

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月26日(2006.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 フルオロエラストマー、該フルオロエラストマーに対する硬化剤、およびモレキュラーシーブ化合物を含有し、該硬化剤はポリオールおよびジアミンからなる群から選択されることを特徴とする硬化性フルオロエラストマー組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

ここで、本発明は、ある実施の形態により具体的に説明される。特に示されない限り、すべての部およびパーセンテージは重量に基づく。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

〔1〕 フルオロエラストマー、該フルオロエラストマーに対する硬化剤、およびモレキュラーシーブ化合物を含有することを特徴とする硬化性フルオロエラストマー組成物。

〔2〕 前記モレキュラーシーブ化合物は、モレキュラーシーブゼオライトであることを特徴とする〔1〕に記載の組成物。

〔3〕 前記モレキュラーシーブゼオライトは、I A族およびI I A族元素の結晶性アルミノケイ酸塩からなる群から選択されることを特徴とする〔2〕に記載の組成物。

〔4〕 前記モレキュラーシーブ化合物は、フルオロエラストマー100部あたり0.5～15部の量で存在することを特徴とする〔1〕に記載の組成物。

〔5〕 前記フルオロエラストマーは、フッ化ビニリデンとヘキサフルオロプロピレンとの単位を含有するコポリマー；フッ化ビニリデンとヘキサフルオロプロピレンとテトラフ

ルオロエチレンとの単位を含有するコポリマー；フッ化ビニリデンとパーフルオロ（アルキルビニル）エーテルとテトラフルオロエチレンとの単位を含有するコポリマー；テトラフルオロエチレンとプロピレンとの単位を含有するコポリマー；エチレンとテトラフルオロエチレンとパーフルオロ（アルキルビニルエーテル）との単位を含有するコポリマー；およびテトラフルオロエチレンとパーフルオロ（アルキルビニル）エーテルとの単位を含有するコポリマーからなる群から選択されることを特徴とする〔１〕に記載の組成物。

〔６〕 前記フルオロエラストマーに対する硬化剤は、ポリオールであることを特徴とする〔１〕に記載の組成物。

〔７〕 前記フルオロエラストマーに対する硬化剤は、過酸化物であることを特徴とする〔１〕に記載の組成物。

〔８〕 前記フルオロエラストマーに対する硬化剤は、ジアミンであることを特徴とする〔１〕に記載の組成物。